### 要旨

# 報酬系の脳活動検出における Multi-band EPI の性能検証

### 諸江 崇平

fMRI (機能磁気共鳴画像法)では通常、Echo Plannar Imaging (EPI)が使用される。本論文では通常の EPI を Standard-EPI (ST-EPI)と呼ぶ。これに対して近年開発された EPI の 1 つに Multi-band EPI (MB-EPI)というものがある。MB-EPI では ST-EPI をさらに高速化したものであり、より高い時間分解能で撮像することが可能である。しかし MB-EPI は開発途上の手法であり、脳賦活検出について解明されていない。そこで本研究では報酬系に注目して ST-EPI と MB-EPI の脳賦活検出力を検出、比較を行った。

本実験では被験者 4 名に MID Task を行ってもらい、そのときの脳賦活を抽出した。MID Task とは報酬的予測に関する課題であり、その結果、報酬系 (線条体と前頭眼窩野) が脳活動を示すことは先行研究で証明されている [1]. 本実験ではこの Task を利用し、各 EPI の脳賦活検出力を検証した。

実験の結果、比較的脳賦活を検出しやすい部位である線条体については ST-EPI、MB-EPI どちらも脳賦活を検出することに成功した. しかし鼻腔の空気層と近く、撮像が難しい前頭 眼窩野 [2] について脳賦活検出力を比較したところ ST-EPI では活動を拾うことができない場合があったが、MB-EPI では被験者全員の脳賦活の抽出に成功した. 本実験の結果から ST-EPI よりも MB-EPI の方が報酬系の脳賦活検出能力が高いことが示唆された. その理由として考えられることは TR(Repetition time)の差である. MB-EPI は一度の撮像で複数のスライスを同時に撮像ができるため TR を短く設定することが可能である. そのためより細かく脳賦活を抽出することができ、上記の結果に至ったのではないかと考察した.

キーワード 脳賦活検出、報酬系、Multi-band EPI、Multi-band factor

## Abstract

A test of multi-band EPI on detection of activation in the reward system of the human brain

#### Shuhei MOROE

key words Brain activation detection, Reward system, Multi-band EPI, Multi-band factor